

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」		
ゼミ名	「商社（秋・冬）」		
講師幹事名	町塚 栄介（まちづか えいすけ） 住友商事（株）ケーブルテレビ事業部 参事	大学教員	全学共通教育センター長 南 裕子
学 期	2024 年 秋冬	開講時間	水曜 4～5時限

【授業の目的・到達目標】

- ・ わが国独自の存在として発展してきた総合商社とは何か。その機能、役割、現代社会におけるあり方を理解する。具体的な事業分野、それに対応する多種多様な取り組み方、大型プロジェクト等、多様な事業展開の中から商社の実態を解きほぐし、企業としての可能性、将来性、活力、課題を議論する。
- ・ 毎回、異なる商社、異なる事業分野、異なる経験を持つ先輩講師により、オムニバスのに現代商社の最前線における事業活動や経験を語ってもらい、複数の切り口から、企業類型としての商社とそのビジネスモデルを把握することを授業の目標とする。
- ・ 下記講義の最終回は、実際にいずれかの商社を1社訪問する。会社説明を受けるとともに、若手先輩と交流したり、企業の現場を見たりして、質疑応答や議論を試みることを授業の一環として実施する。

【上記目的・目標達成方法】

- ・ 「10年後に備え商社が注力すべき事業領域・ビジネスについて簡潔に提示すること」を期末レポートの課題とし、一つの共通の問題意識をもって異なった講義を受け、議論に参加するという手法をとり、その結果をレポートする。

【授業の内容と計画】 役職は令和6年8月5日現在

- ・ 授業の主要なテーマと予定講師は下記の通り。授業形式は、コロナの状況を見ながら都度判断。

月日	氏 名	卒年 学部	社名・役職	講義内容
10月2日 @一橋	町塚 栄介	平9商	JCOM株式会社 ケーブル・プラットフォーム事業統括部長 (住友商事(株)から出向)	商社のビジネスモデルの変遷とメディアにおける事業経営
10月9日 @一橋	大石 修平	平30商	丸紅株式会社 食料第二本部 穀物油糧部 穀物課	穀物ビジネスへの取り組みについて
10月16日 @一橋	耜田 誠高	平26経	双日株式会社 リテール・コンシューマサービス本部 リテール第三部 アセットマネジメント課	商社における商業施設事業と地方創生
10月30日 @一橋	松井 悠記	平16商	伊藤忠商事株式会社 食料カンパニー 食品流通部 食品流通第二課長	日本の食品流通の過去・現在・未来
11月6日 @一橋	和田 哲朗	平6社	三菱商事株式会社 地球環境エネルギーグループ 次世代エネルギー本部長	商社のカーボンニュートラル社会実現に向けた取り組みについて
11月13日 @一橋	桑田 和弥	平1法	三井物産株式会社 法務部 部長補佐 兼機械・インフラ法務室	鉄道インフラ/資源開発/商社の国際プロジェクト契約交渉の現場を体感する
12月4日 双日	耜田 誠高	平26経	双日株式会社 リテール・コンシューマサービス本部 リテール第三部 アセットマネジメント課	会社訪問（詳細は別途連絡）

個別ゼミ概要(WEB掲示用)

【テキスト・参考文献】

- ・ 「総合商社 商権の構造変化と21世紀戦略」島田克美・黄孝春・田中彰共著、ミネルバ書房 2003年
- ・ 「総合商社 商社機能ライフサイクル」岩谷昌樹・谷川達夫共著 税務経理協会 2006年
- ・ 「商社2012」美原融 監修 産学社 2011年
- ・ 「総合商社の研究」田中隆之著、東洋経済新報社、2012年
- ・ 「現代総合商社論」三菱商事(株)編、堀口健治・笹倉和幸監修、早稲田大学出版部
- ・ 「総合商社 - その「強さ」と日本企業の「次」を探る」田中隆之著、祥伝社新書、2017年

【受講生に対するメッセージ、希望】

- ・ 現場の一線で活躍している先輩講師と交流する良い機会でもあり、議論と交流の中で、学生諸君の積極的な参加や発言を期待します。ゼミ形式ゆえ、一方的にならないよう、あくまでも双方向的な形で実施します。
- ・ 過去商社不要論が何度も叫ばれながら、なぜ商社はこれを跳ね除け、復活し発展してきたのでしょうか。商社とは何か、という設問を通じて、会社とは何か、ビジネスとは何か、さらには、働くこととは何か、を講師の方々と議論し考えてください。
- ・ 新聞、ネット等による経済活動報道等も参考とし、講師を質問攻めにするくらいの問題意識、気力をもってゼミに参加してください。